

検討課題	項目	意見	意見の出所
病院の機能	機能の構想	高精度放射能治療装置の運用を始めたため将来はがん拠点病院や災害拠点病院の認定を検討している	第1回
		再編というと、統合して病院が一つ減るように捉われがちだが、施設を両方残し、医療機能を分担することも再編である	第8回
	地域での役割	市立病院を2つ持つ必要がないと考える会派もあるが、病院間は距離があるため地域住民のことを鑑みると2病院が必要である	第4回
		うわまち病院と市民病院は東と西に立地し、場所的にも分化しているため、急性期機能を無くして回復期に特化することは難しい	第6回
		うわまち病院と市民病院は東と西に立地し、場所的にも分化している	第1回
		高度・専門医療は大学病院で行っているため、自治体病院に大学病院の水準を求めるのか疑問である	第1回
		将来的に不足すると考えられる回復期など、地域に不足する医療を提供することが最も重要である	第7回
	不採算機能への対応	不採算医療を担っていくということだが、政策医療の定義ははっきりしていない	第1回
		経営の観点から、高度急性期、急性期病床をもっていると有利だが、診療報酬改定で回復期・慢性期の採算の変化があれば、状況は変わる	第4回
	1病院完結型診療	回復期や慢性期病床を設け患者を効率的に回し、より多くの患者を受け入れたい	第7回
	小児医療への取組	新病院においても小児医療を強化する	第7回
	診療科の種類	現在の病院規模では多くの診療科を設けるには無理がある	第6回
人材確保	働きやすい環境づくり	女性の働き手を確保するために保育所が必要である	第1回
		女性医師が産休や育休を取得できる体制を整えていく	第1回
		職員の健康面から健診に力を入れていく必要がある	第1回

検討課題	項目	意見	意見の出所
他病院との連携		高齢化社会を見据え、介護(在宅医療)に力を入れることも一案である	第1回
	市民病院との機能分化	横須賀市民病院との役割分担の視点から、市民病院は慢性期や在宅医療、うわまち病院は急性期の特色として進めるべき	第1回
		10月から地域包括ケア病棟をオープンした	第7回
	横須賀共済病院との機能分化	横須賀共済病院は高度急性期に特化している	第6回
		横須賀共済病院は、うわまち病院と比べ患者数などのボリュームや医療の質が圧倒的に高い	第6回
		相模湾側の小児医療が手薄であるため、うわまち病院にある小児、周産期機能を西の市民病院に移すと東側は共済病院が拠点となることから二次医療圏内でバランスが取れる	第6回
		救急車の受け入れに関しては、うわまち病院の対応が非常によいため、共済病院と分担していくのがよい	第6回
周辺病院との機能分化	うわまち病院は1病院完結型の病院であり、地域医療構想で求められている地域完結型の医療とは方向性が異なる	第6回	
現在の建物の課題	駐車場	患者数に対して駐車場が狭い	第7回
		病院建替えの際には駐車場を立体化し、駐車台数を増やしたいと考えている	第7回
		駐車場が狭く、駐車場待ちの車列が病院の外まで並んでいる	第1回
	増築棟	現地で建替えとなった場合は、南館・放射線治療棟は建替え対象としない	第1回
	治療スペース	救命救急センターが狭い	第7回
		透析患者向けの血液浄化室をオープンしたが、スペースが狭く8床しか運用できていない	第7回
	建築制限	建築制限はあるのか(高層にできるか等の制限)	第1回
	看護学校の対応	看護専門学校が敷地内にあるため、うわまち病院での実習を実施すれば学生にも病院にもメリットがある	第1回

検討課題	項目	意見	意見の出所
現在の設備の課題	医療機器	使用する医療機器が中核病院として必要な水準(一定の医療サービスを提供できるか)を充たしているか、現状把握が必要	第1回
新しい建物に望むこと	介護施設の検討	将来的な高齢者増加を踏まえ、施設内に介護施設を設けることも一案である	第7回
	CS・ES満足度	医療機器や設備が充実し、働きやすい環境を作ることができれば、職員だけでなく患者にも良い病院となる	第3回
事業費用	市からの負担金	市から支出されている負担金額は、国の政策医療や新病院の規模・運営内容を踏まえて検討する	第1回
	建設費の返済財源	同規模の病院建設に要すると思われる建設費100億円の返済財源確保が重要な課題である	第1回
スケジュール	建物の老朽化	老朽化が目立ち、先進的な医療に見合った施設ではない	第2回
	院内の状況	歩く距離が長く複雑であり、傾斜も急である	第2回
		外来や病棟の廊下などが狭く、廊下には車いす等が置いてあるため患者や病院職員の安全確保が難しいのではないか	第2回
	建替えの計画の状況	各施設の配置や狭い道路の検討などを行わなかったためずさんな計画であった	第2回
神奈川県地域医療構想の策定状況を見ると病床数等の数値は今後大きく変わらないと考える		第4回	
立地	建替え地の検討	現在地で建替えるのか移転するのかは、今後市とも検討が必要	第7回
	現在地での建替え	できる限り患者を減らさないように建替えを行う必要がある	第1回
		現在地で建替えを行うと、診療がストップすることが考えられる	第1回
	病院への経路	うわまち病院入り口までの道幅が狭い	第1回

検討課題	項目	意見	意見の出所
参考になる病院への言及	病院統合	加古川市立市民病院と加古川病院が、地方独立行政法人を設立した	第8回
		佐久市立浅間総合病院と佐久総合病院が機能分化し一方を回復期、慢性期特化型の病院にし、一方を高度医療を担う病院として新設した	第8回
		市立酒田病院と県立日本海病院は将来の採算も考えた上で、地方独立行政法人を設立し、約650床の急性期病院として運用している	第8回
	機能分化	倉敷市では、倉敷中央病院が急性期を一手に担い、近隣公的病院が回復期・慢性期を担っている	第7回
	建替え	川崎市立井田病院は建替えの最終段階である	第1回
		横浜南共済病院は建替え工事中である	第1回

建替えの主要論点のうち、過去の議事録では特に言及が見られなかった点  
 新病院の病院規模